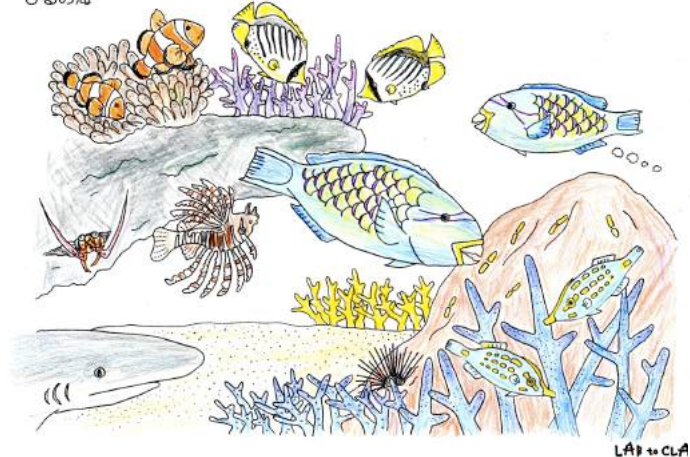




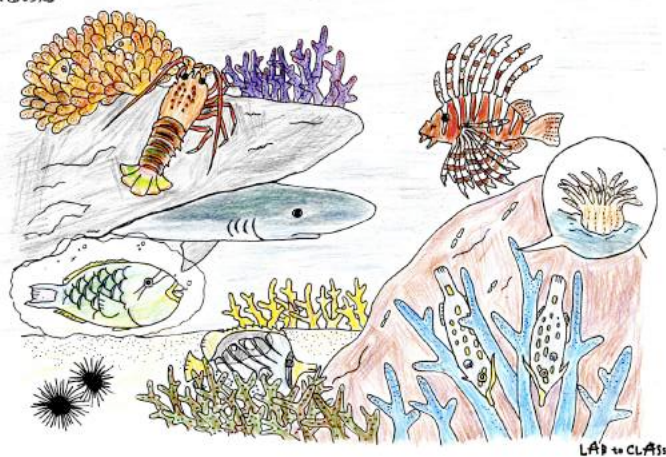
サンゴぬりえ④

【ひるの海とよるの海】の解

ひるの海



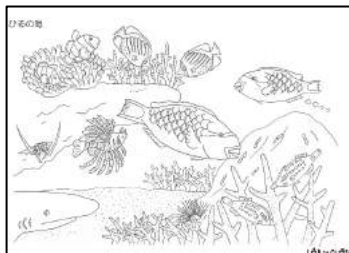
よるの海



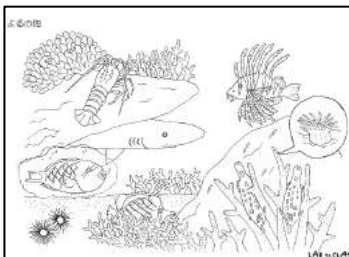
◆テーマ

サンゴ礁の海には多種多様な生物がすんでいます。昼間に活動する生物、夜に活動をはじめ生物、海のなかには昼と夜で大きく様子が変わります。同じ生きものの昼の顔と夜の顔を見比べながら、種によって異なる、“生きていくため”の多様な生態を学びましょう。

◎解説の例



ひるの海



よるの海

◆絵の説明：海の生きものはいつ、どうやって眠る？

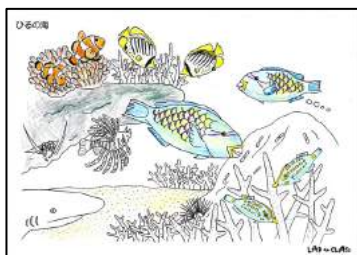
私たちは朝起きて、夜は眠りますね。海のなかの生きものたちはどうしていると思いますか？ サンゴ礁の海にはいろいろな生きものが暮らしています。昼間元気に動きまわって餌を探すもの、反対に暗くなってから動きはじめるもの…。どちらにしても、眠るときや休むときは、敵に襲われやすくなります。そこで、目立たないように体の色や模様を変える生きものもいるんですよ。昼の海と夜の海、どこがどのように違うかな？ 2枚の「ぬりえ」をぬっていきましょう。

*「ひるの海」と「よるの海」2枚の絵があります。一人で2枚をぬるやり方他、2グループに分かれて「ひるの海」と「よるの海」の一方だけをぬり、最後に両方を並べて見比べてもいいでしょう。

【ひるの海】

◆第一段階：忙しく動いている生きものは？

1) チョウチョウウオの仲間は、平べったい体でサンゴや岩の間をすり抜け、チョウのようにひらひらと泳ぎまわります。アケボノチョウ



チョウウオをぬりましょう。

●アケボノチョウチョウウオ

2) カワハギの仲間は、とんがった口でサンゴのポリプや海藻をつついて食べています。テングカワハギをぬりましょう。

●テングカワハギ

3) 硬い歯で、サンゴや岩についた藻をかじりにとって食べているのはブダイの仲間です。一緒に食べてしまったサンゴの骨は、砂のように細かく砕かれウンコとして出てきます。カラフルなハゲブダイをぬりましょう。

●ハゲブダイ

4) クマノミの仲間は、イソギンチャクに入ったり出たりしながら、食べものを探したり、近づく魚を追い払ったり…忙しく泳ぎ回っています。カクレクマノミとハタゴイソギンチャクをぬりましょう。

●カクレクマノミ／ハタゴイソギンチャク

◆第二段階：おとなしくしている生きものは何？

5) 今、色のついていない生きものは、昼間は岩の陰でじっとおとなしくしているものたちです。岩の下でさかさまになっているのは、ひれに毒のあるハナミノカサゴです。

●ハナミノカサゴ

6) 2本の長い触角をのぞかせているのはイセエビです。

●イセエビ

7) 岩の下で大きな体を休ませているのは、ネムリブカ。大人しいサメの仲間です。

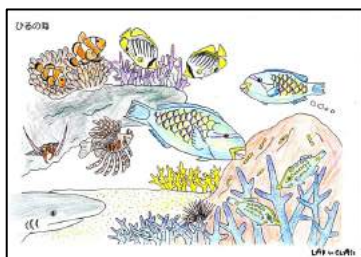
●ネムリブカ

8) 岩のくぼみから長いトゲを出しているのは、ガンガゼです。棘には毒があります。

●ガンガゼ

9) サンゴの仲間は、体のなかに褐虫藻という植物プランクトンがすんでいます。太陽の光を浴びている昼間は、褐虫藻が光合成でつくりだした栄養をもらっています。枝の形のみどりいしサンゴ、岩のようなハマサンゴをぬりましょう。

●みどりいし／ハマサンゴ





10) 残りの岩や海の色をぬって、絵を仕上げましょう。

【よるの海】

◆第一段階：忙しく動いている生きものは？

1) 長いひれを大きく広げて泳いでいるのはハナミノカサゴです。ひれの先には毒をもった棘があり、ひれを広げながら小さな魚を追い込んで、パクッと丸のみしてしまいます。

●ハナミノカサゴ

2) 岩の上に現れたのはイセエビです。夜になると動き出して、餌を探します。イセエビをぬりましょう。

●イセエビ

3) 昼間は岩影でその名のとおり“眠っている”ネムリブカですが、夜になると活発に泳ぎ回ります。魚やエビ、カニ、イカ、タコなど、口に入るものなら何でも食べてしまいます。ネムリブカをぬりましょう。

●ネムリブカ

4) 長いトゲをもつガンガゼも夜行性です。昼間は岩の隙間などに隠れていますが、夜になると歩き回って藻類などを食べます。ガンガゼを黒くぬりましょう。

●ガンガゼ

5) サンゴの仲間は夜になるとポリプの触手を長く伸ばして、動物プランクトンを捕まえて食べます。昼間とはずいぶん違う姿になりますね。サンゴと拡大したサンゴのポリプをぬりましょう。

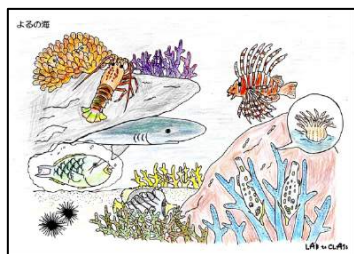
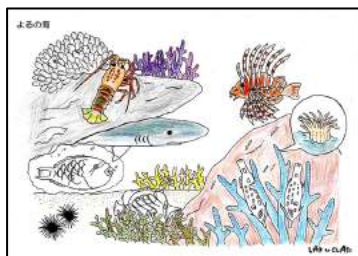
●サンゴとサンゴのポリプ（拡大）

◆第二段階：おとなしく眠っている生きものは何？

6) 次は、夜になるとおとなしく眠っている生きものを探しましょう。イソギンチャクに深く潜りこんで顔だけ出しているのはカクレクマノミです。カクレクマノミとハタゴイソギンチャクをぬりましょう。

●カクレクマノミ／ハタゴイソギンチャク

7) チョウチョウウオの仲間は、夜になるとサンゴや岩の影に隠れて休みます。体の色も薄くなって少し暗い色になります。さらに、アケボノチョウチョウウオは夜になると体に白くて丸い目玉模様が現れ、敵を驚かして身を守ります。背びれの下に目玉模様が現れたアケボノチョウチョウウオをぬりましょう。体の色は全体的に、昼間より黒ず





んでいます。

●アケボノチョウチョウオ

8) 岩の下で寝ているのはハゲブダイです。ブダイの仲間は、夜になるとエラや口から粘液を出して体を覆い、透明な寝袋をつくってそのなかでゆっくりと休みます。

●ハゲブダイ

9) カワハギの仲間は、夜になると背びれと腹びれにあるトゲを立てて、岩やサンゴの間に上手に体を固定して休みます。テングカワハギが枝サンゴの間にうまくはさまっていますね。こうしていると、サンゴの一部に見えませんか。テングカワハギをぬりましょう。体の色は全体的にうす暗くしてください。

●テングカワハギ

10) 残りの岩や海の色をぬって、絵を仕上げましょう。

◆まとめ：主役が異なる「ひるの海」と「よるの海」

「ひるの海」と「よるの海」では、主役がかなり違いますね。自然のなかで“敵から身を守ること”“餌を食べること”は生きていくためにとても重要です。自分の食べたい餌を、“捕まえやすい時間”や“敵に襲われにくい時間”を選んで、生きものたちは活動しているのです。

そして、私たちと同じように、海の生きものにも休息は必要です。その間は敵に見つからないように、何かに隠れたり、できるだけ目立たないように体の色や模様を変えたり、いろいろな工夫をしています。

一見優雅で平和そうに見えるサンゴ礁の海のなかも、生きものたちにとっては、毎日がサバイバル。生き残るためのさまざまな工夫をして、命をつないでいるのです。